

# 一般質問

## 一般質問とは

議員が市政運営全般にわたり、その執行の状況や将来の方針、考え方などを市側に質し、答弁を求めることをいいます。平戸市議会では定例会毎に実施しており、答弁時間を含めて、1人あたり60分の持ち時間が与えられています。



3月定例会では、2月26日～3月2日の一般質問で11人の議員が登壇。行財政運営や産業振興、人口減少対策などの課題への対応策や今後の計画・進捗などについて市の考えを質すほか、議員それぞれの視点からの提案などについて議論が交わされました。

※各議員の二次元コードから一般質問の録画放送をご覧になれます。  
※文責はいずれも本人です。

## 工業団地整備事業の必要性を問う 本庁舎の耐用年数の現状は

是非の会 池田 稔巳



録画放送

**議員** 令和2年の工業団地企業誘致後、今回新たな工業団地整備を予定しているが、見積もりの甘さや昨今の経済状況の影響などもあり大幅な事業予算の増額になっている。さまざまな現況の中、市長としてはどう考えているのか。  
**市長** これから分譲までの予定は、令和9年度までに整備工事を終え、令和10年度から分譲を開始したいと考えている。

ている。また視点が欠落していた地元企業への誘致活動も平戸市商工会、平戸商工会議所を通じて話を伺いながら進めたい。  
**議員** 本庁舎の耐用年数と今後の計画はあるのか。  
**総務部長** 令和8年度に市庁舎も築50年となるので、電気設備や水道設備調査を8年度中に行う。建設費用や基金の考え方についてはまだ今のところない。

**議員** 議会としては多くの地元雇用を期待して工業団地事業を認めてきた経緯がある。令和3年誘致の企業においても50人の目標が15人程しか達していない。また地元企業への誘致や営業も不足していると思われる。新たな感覚と十分な工業団地事業の必要性についての説明を求めたい。  
**文化観光工部長** 雇用に関しては、新型コロナウイルス感染症や関税の問題もあったが、令和8年度には新事業展開で雇用増の話も聞いて



工業団地建設予定地(田平町)

## 目的を明確に戦略を

新波クラブ 針尾 直美



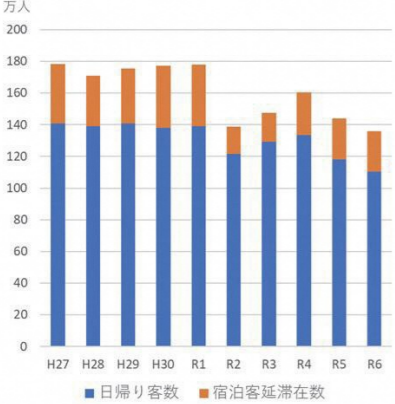
録画放送

**議員** 令和6年の観光客数が、コロナで落ち込んだ令和2年よりも少ないのはなぜ。特にインバウンドの回復が遅れている要因は、

**文化観光工部長** 最大の要因は、団体旅行から個人旅行への旅行形態の変化。今後は、時代のニーズに応じた誘客施策の展開やDX化に努め、インバウンド対策としては、デジタルノマド誘客を強化し、プロモーション活動や環境整備を進める。

**議員** 平戸の玄関である城下町エリアの商店街は、後継者不足や住民の買物行動の変容によってにぎわいが低迷しているが、同じ悩みを抱えながらも活性化に成功している事例がある。実践的な取り組みとそれを支える政策体系が必要ではないか。  
**文化観光工部長** 商店街の当事者との対話を行っていき、さまざまな課題を共有しながら、優良事例も参考に、中小企業庁など

観光客数の推移



の支援も模索し観光商店街の再生に取り組んでいく。

**議員** いきいきおでかけ券は、移動手段に対する利用がメインとなっており、外出機会の拡大と社会参加、健康増進を促すという目的からすれば、外出の動機づけとなることに利用できてしかるべきではないか。

**福祉部長** 本事業だけでの対応に限界を感じる。今後、高齢者のニーズ調査などで必要な支援を精査し、事業そのものの抜本的な見直しも視野に入れて検討を行いたい。

## 適正な人事を進めるにあたって 学校給食の無償化は

政和会 岡 康則



録画放送

**議員** 市政を推進できる職場環境づくりのために人事は重要である。人事に対する市長の基本的な考え方は。

**市長** 適材適所と目的型の組織づくりのため、縦割りを越えた機動的な体制をつくりたい。

**議員** 早期退職者が22人、休職者の内メンタルの不調を訴える職員が17人と驚くほど増加している。市としては大きな損失であるがその対策は。

**副市長** 悩みや課題を1人で抱えこませない風通しの良い職場づくりとDXなどで事務効率を高め、職員が自らの成長を実感でき、誇りを持つ組織をつくる。  
**議員** 定員適正化計画が終了したが行政運営に影響は。

**総務部長** 目標は達成できたが業務量が増加し職員数に対し限界が来ている。職員数の抑制ではなく適正な配置が必要である。  
**議員** 職員の給与は増加している

が、非常勤特別職の各種委員の報酬改正についての考えは。  
**総務部長** 賃金・物価上昇の中、市町村合併から改定していないので検討する。  
**議員** 4月から小学校の学校給食が無償化されるが内容は。  
**教育次長** 保護者の負担の軽減のため、公立小学校等の児童を対象として保護者の所得に関係なく実質無償化となる。  
**議員** 中学校の学校給食について市の予算を使い無償化する考えはないのか。  
**教育次長** 市の財政状況では困難であるため、中学生の無償化についても国県に対して要望する。



給食週間の郷土料理給食の例

金融教育と部活動地域展開

新時代 山内 信太郎



録画放送

議員 これからを生きる子どもたちは金融リテラシーの習得が不可欠である。詐欺被害を踏まえ、消費者教育の充実も重要と考えるが平戸市の金融教育の現状と今後の方針を問う。

教育長 小中学校では担当科目で金融教育を実施している。契約や消費行動などを学び、詐欺対策としてクーリングオフ制度なども指導している。今後は外部人材の活用も含め充実を図る。

議員 金融教育において外部機関との連携、教員への支援体制は十分か。

教育長 出前授業や模擬会社運営など取り組んでいるが、教職員全体への専門的研修は不十分。今後の課題として研究を進める。

議員 部活動の地域展開について、進捗状況と課題を問う。

教育長 令和8年4月から休日の地域展開を予定しており、一部クラブで移行が進んでいる。指導者に

については引き続き人材発掘が必要である。

議員 保護者負担や機材整備への支援は十分か。

教育長 補助金制度を活用し初年度から支援している。今後は生活困窮世帯への支援も検討する。

議員 夜間活動の増加に伴うナイター設備不足への対応を問う。

市長 現時点で新設計画はないが、使用料減免などで支援する。今後の地域展開の進捗を見ながら検討する。



部活動の地域展開のイメージ

消防出張所の配置計画および常備消防の必要性は

是非の会 松尾 実



録画放送

議員 令和6年の12月に平戸市消防出張所配置計画が策定されたが、令和8年度当初予算にその関連した予算の上程がされていないのはなぜか。

市長 南部地区の課題を直視し、財政、人員、計画の三位一体で整合性を図り、関係者や地元の皆さんの意見を伺った上で、課題の深刻さは重々理解しているため、決して放置することはない。

消防長 今後の財政見直しや消防職員の確保、中南部地区消防体制方針の決定プロセスに関する見解が示され、消防本部としても人事や財政部門と協議を行いながら計画を進める。

議員 消防団の団員数の今後の見込み、そして常備消防の必要性はどのように考えているか。

消防長 令和8年2月1日現在、消防団員数は957人である。3年前の団員数は997人であり、3年間で40人、率にして約4%の減



令和8年平戸市消防出初式での一斉放水

アルベルゴ・ディフゾタウン 事業の現況と展望

政和会 辻 賢治



録画放送

議員 アルベルゴ・ディフゾタウン事業について、これまでの実績、経済効果を問う。

文化観光工部長 宿泊施設3棟(客室数7室・最大24人)が完成。稼働率は約2割だが、施設の拡充、事業者間の連携・情報発信の充実で、稼働率向上・経済効果拡大につなげる。また、宿泊・飲食・買い物などの消費額から試算した経済効果は約3千万円。メディア露出などの効果も見られる。

議員 それは十分な効果なのか。文化観光工部長 地域経済全体への波及効果には課題が残る。

議員 モデルの充実は大事だが、人により結果が大きく変わる。人材の重要性を念頭に経済効果のある戦略をしてほしいところだが、今後の計画と展望は。

文化観光工部長 令和8年度、宿泊施設2棟を改修予定。また事業者のおもてなし事業で、基盤整備や宿泊飲食の充実を図る。

観光行政における課題を問う

新時代 原野 育朗



録画放送

議員 観光産業は、本市にとって基幹産業のひとつであるが、令和6年の観光客は約135万人であり、減少傾向である。市として現状をどのように捉えているのか。

市長 令和4年の一時的な回復から一転し、再び減少に転じている状況であり、本市の観光産業を取り巻く環境は厳しいものがあると認識している。

議員 本市の重要事業である「アルベルゴ・ディフゾタウン推進事業」の現状はどうか。また今後どのように取り組むのか。

文化観光工部長 現在の宿泊施設は3棟7室、最大24人の受入体制で、稼働率2割、国内観光客8割、インバウンド観光客2割の割合である。今後は宿泊施設2棟の整備を進め、環境の充実と稼働率向上を図る。また、事業者間の連携強化や情報発信の充実に取り組み、成果を上げていく。

議員 西九州自動車道平戸ICか



西九州自動車道平戸IC

ら平戸大橋に向かう道路に平戸市の観光施設へ観光客を誘導する案内標識が全くない。早急に設置する必要があると考えるが、どうか。文化観光工部長 平戸ICを利用する観光客の円滑な誘導を図るため、関係する自治体と連携し、道路管理者である県に対し、広域的な視点に立った観光案内標識の設置を要望していきたい。

### テレビ難視聴地域への対応と 広報紙・回覧板閲覧のあり方を問う

新蒼会 井元 宏三



録画放送

**議員** 平戸市内に地上波テレビの難視聴地域はどのくらい存在するの。また、当該地域へ平戸市から支援は行っているのか。

**総務部長** 市が把握している施設は、難視聴地域を含めて29施設ある。難視聴地域の対応を含めてテレビ放送の受信に関する戸別支援は行っていない。

**議員** 市内に29施設もあるということであれば、このままでいいのかという疑問が残る。緊急放送の周知が遅れる可能性もあり、防災の観点からも、市で管理してもらえないかという声があるが、今後、何らかの支援を考えるべきでは。

**市長** 防災の観点からの市による共聴施設の管理については、民間施設である共聴施設を新たに市が管理することは難しいと考えている。

**議員** 広報紙や市からのお知らせなどの配布物について、紙の配布を希望しない人もおられると聞いている。

### 寄附事業の課題と 防護柵運用改善

新時代 大村 謙吾



録画放送

**議員** ふるさと納税における寄附額の現状は。

**市長** 中間事業者に業務委託し、寄附額の増加を図ったが、本年度見込額は約3億8千万円である。

**議員** なぜこの結果か。  
**財務部長** 代表的な返礼品が選定できず、年間を通じてニーズに応じた量を提供できる返礼品が少ないことも要因。

**議員** 私の認識とは異なる。行政側が知見を蓄積せず外部に丸投げした結果、主体的コントロールを失ったことが大きな要因と思う。その結果、移行時に蓄積データを消失した。以前の中間事業者との移行はスムーズに出来たか。

**財務部長** 概ね予定通り移行できた。掲載した画像やレビュー等は契約上、旧中間事業者に著作権があり、契約終了時に全て消去された。

**議員** 基金に依存した事業拡大は結果無責任であり、これまでの市政運営の課題が表れた。新市長の



ワイヤーメッシュ設置例

ている。嘱託員や各家庭への配布者の負担軽減、廃棄物や経費削減の観点から、LINE配信やホームページ掲載閲覧で、ペーパーレス化に対応できないのか。

**総務部長** 市が配布を必要としない世帯を戸別に把握し対応することは難しいと考えているが、嘱託員が地区内でそういった世帯の事情を把握され、必要な部数の報告があれば、その部数で対応する。



平戸市ホームページ



平戸市公式LINE

新たなリーダーシップによる行財政改革が不可欠。

**市長** 行政内部に専門的な知識を高め、中間事業者や提携団体などと協議し、独自の契約や組織体制を研究しV字回復に向け取り組む。

**議員** イノシシなどの鳥獣被害防止のための防護柵(ワイヤーメッシュ)について、納入遅延の改善と柔軟な運用を求める。

**農林水産部長** 事務の遅れで納品が1カ月半遅延した。令和8年度は秋頃納品を目指す。また、柵の設置期間の根拠となる14年ルールは長期間の取り組みとなるため、柔軟な対応を国や県へ要望していく。

### 市長が取り組む施策と 田平地区における消防行政を問う

新波クラブ 吉福 弘美



録画放送

**議員** 市長は、「第一次産業は平戸市の基幹産業であり、力を入れていかなければ」と発言しているが、考えを伺う。

**市長** 産業を守り育て稼ぐ力へと確かな成長軌道へ乗せることを最重要課題の1つに掲げている。農林水産業に携わる皆様の声を伺うと、高齢化や担い手不足、耕作放棄地などの課題は深刻であり、解決する為、地域営農法人や漁業協同組合との連携強化、後継者育成制度の充実に取り組む。

**議員** 施策を実行する、形にするために権限を持たせた人材が必要ではないか。

**市長** 幹部職員などを含めながら、幅広くいろいろな可能性を取り入れ対応する。

**議員** 資材高騰で初期投資が大きく、就農できない状況のようである。また、離農が進んでいくが、空き家バンク同様、市の農業版として施設のバンク制度を設立して



消火栓の例

### 離島に安心の医療体制を 平戸農業の活性化へ向けて

日本共産党 岡村 文雄



録画放送

**議員** 大島・度島で人工透析が可能とならないか。

**市民生活部長** 高額な医療機器や専門的な人材配置が必要。診療所での対応は困難。

**議員** 交通船欠航時、透析患者の本土宿泊の対応は。

**財務部長** 欠航に伴う宿泊費の半額を補助している。令和6年度の実績は5万2千円。

**議員** 離島在住のため発生する負担、全額支給にできないか。

**市長** 公平性を踏まえ検討する。  
**議員** 国道383号線、鞍掛バス停5年間64件の交通事故が発生。特に大野・大山バス停付近に集中しており、地区が長年改修を要求している。併せて、鞍掛バス停川内峠登り口バス停間の歩道についても県に設置要望できないか。

**建設部長** 県の設計協議で地元の声を伝える。また、要望書が提出された際は、市として県へ「要望する。

はどうか。

**農林水産部長** 県やJAと情報を共有し、データバンク化して関係機関と協議し前向きに検討したい。

**議員** 田平北小学校校区に新しい住宅が建設されているが、防災の対応は。また、消防車両の入れ替えは。

**消防長** 平戸大橋からさつき観光間は、水道管が埋設されていないため、消火栓の配置は厳しい。市内には63台の消防車両がある。通常20年〜24年をめどに更新する方針としている。



農地の改良が進む基盤整備事業